

# 仙台市の震災廃棄物の処理状況について



# 市内の被害の状況






- 人的被害：死者等 704名  
行方不明者 26名  
(10/28現在の速報値)
- 建物被害：全壊26,368棟  
半壊56,810棟  
大規模半壊20,996棟  
一部損壊 103,230棟  
(10/23現在の速報値)
- 油漏れ：JX日鉱日石エネルギー-仙台製油所、全農エネルギー-仙台石油基地のタンクや配管から  
(仙台港に立地するJX日鉱日石コンビナートLPG出荷設備(多賀城市)で火災発生  
仙台市消防局出動→3/15に鎮火)
- 地震直後に、電力、水道、都市ガスの供給ストップ  
(地震直後は、全市域停電のため、多くの市民が仙台平野を襲う津波の映像をテレビで見ることができなかった。)
- ガソリンや軽油の供給ストップで車が動かさない事態  
(中心部は3日程で電気復旧し、電気自動車が大活躍！)



# 浸水地区

◎津波による浸水地区  
人口 : 22,370人  
世帯数 : 8,280世帯  
面積 : 5,200ha



-  津波による浸水区域
-  A地区 (概ね家屋流出・1階天井まで浸水したと見られる区域)
-  B地区 (概ね床上1m以上の浸水とがれきの建物内流入が見られる区域)
-  C地区 (概ね床上浸水が見られる区域)
-  D地区 (概ね床下浸水が見られる区域)





3/18撮影 津波被災した荒浜地区





3/18撮影 丘陵地の折立団地の擁壁や道路も損壊

# 震災廃棄物の発生量

がれき等の発生量について，津波浸水区域の流出家屋の棟数，解体・撤去が見込まれる被災家屋の棟数及び地震被害等により解体・撤去が見込まれる被災家屋の棟数などから推計した。

発生総量	内 訳	
	品 目 等	発 生 量
約135万トン	コンクリートくず・アスファルトくず	61万トン
	木くず	24万トン
	金属くず	2万トン
	瓦・石膏ボード等	6万トン
	その他の可燃物（廃プラ，粗大）	7万トン
	その他の不燃物（粗大）	3万トン
	<b>小 計</b>	<b>103万トン</b>
	公共施設から発生するがれき等	約31万トン
	被災自動車（約9,700台）	1万トン
その他	津波堆積物（土砂など）	約130万トン

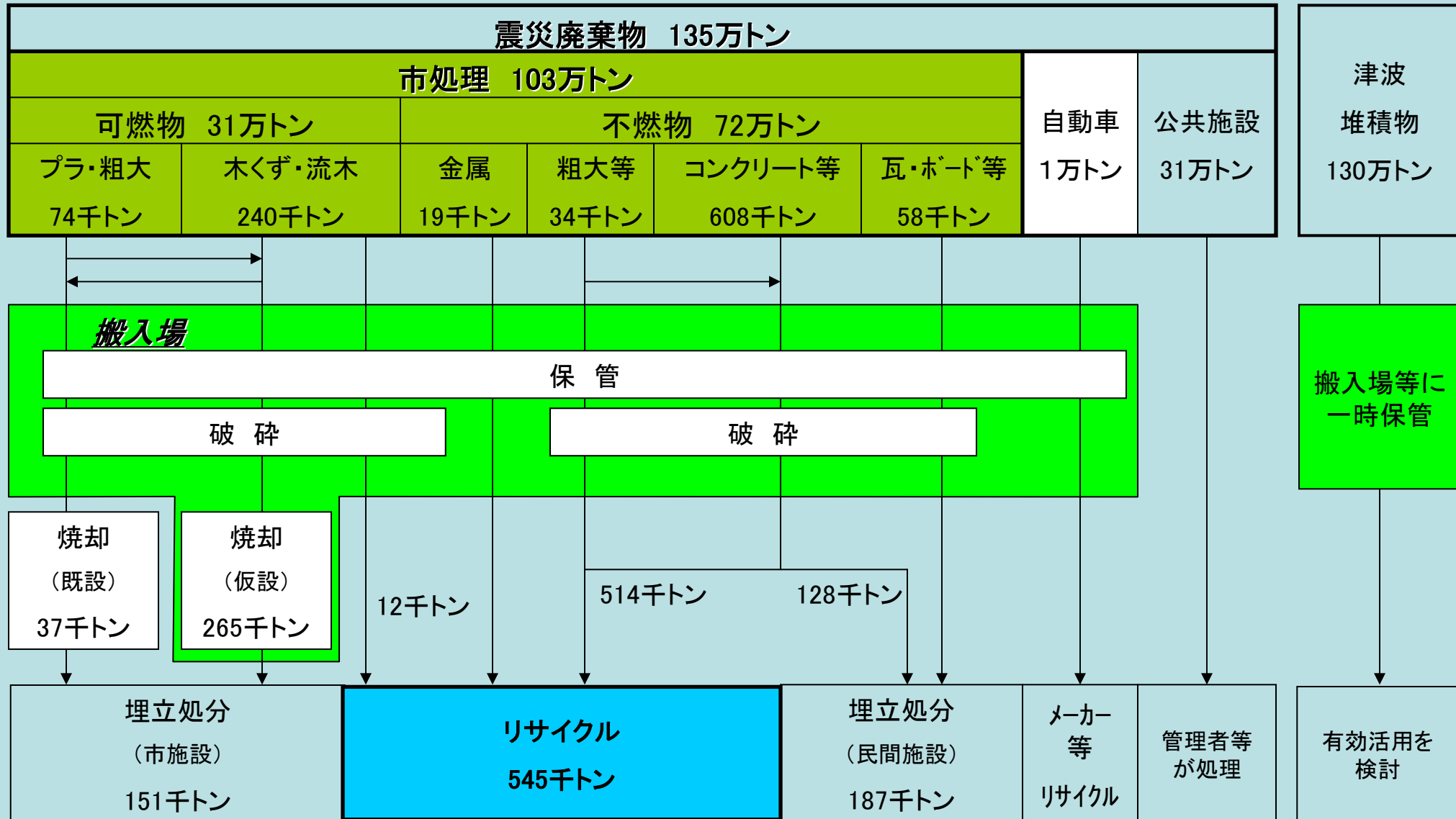
# 基本的な考え方

- がれき等の撤去 1年以内（23年度内）
- がれき等の処理 3年以内（25年度末）

現場での粗選別後，市内3箇所の搬入場にて，10種類以上に細分別を行い，できるだけ資源化を行う。

がれき等の撤去にあたっては，津波浸水区域の沿岸部を優先して行う。

# 震災廃棄物処理フロー



※ 発生量は事前策定のマニュアル(要領)を参考とし推計



# 震災廃棄物の処理体制

1. 不明者捜索に係るがれき等の撤去（人命隊）
2. 浸水地域の家財等の撤去（濡れごみ隊）
3. 道路啓開がれき等の撤去（道路隊）
4. 被災車両の撤去（車両隊）
5. 宅地内のがれき等の撤去（がれき隊）
6. 損壊家屋等の解体・撤去（解体隊）
7. 地震動による家財等の撤去（山ごみ隊）
8. がれき等の分別，破砕・焼却処理（搬入場隊）
9. 農地内のがれき等の撤去（農地隊）

# 濡れごみ隊（宮城野区白鳥地区）





# がれき隊（宮城野区蒲生地区）





# 震災廃棄物の仮置き場等



市民仮置き場: 8ヶ所 (7ha)

搬入場: 3ヶ所 (約103ha)



# 市民仮置き場の分別状況



ガラスくず・陶磁器くず等



家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)



金属くず



ソファー・マットレス等

# 市民仮置き場（若林区日辺周辺）





# 他都市支援状況（新潟市・し尿処理）



# 他都市支援状況（横浜市・市民仮置き場）





# 仮設焼却炉設置場所



計 480t/24h

蒲生搬入場  
90t/24h

荒浜搬入場  
300t/24h

井土搬入場  
90t/24h



荒浜搬入場 仮設焼却炉





# 蒲生搬入場



# 荒浜搬入場

荒浜搬入場 1:3000

標準10号機(11号機)



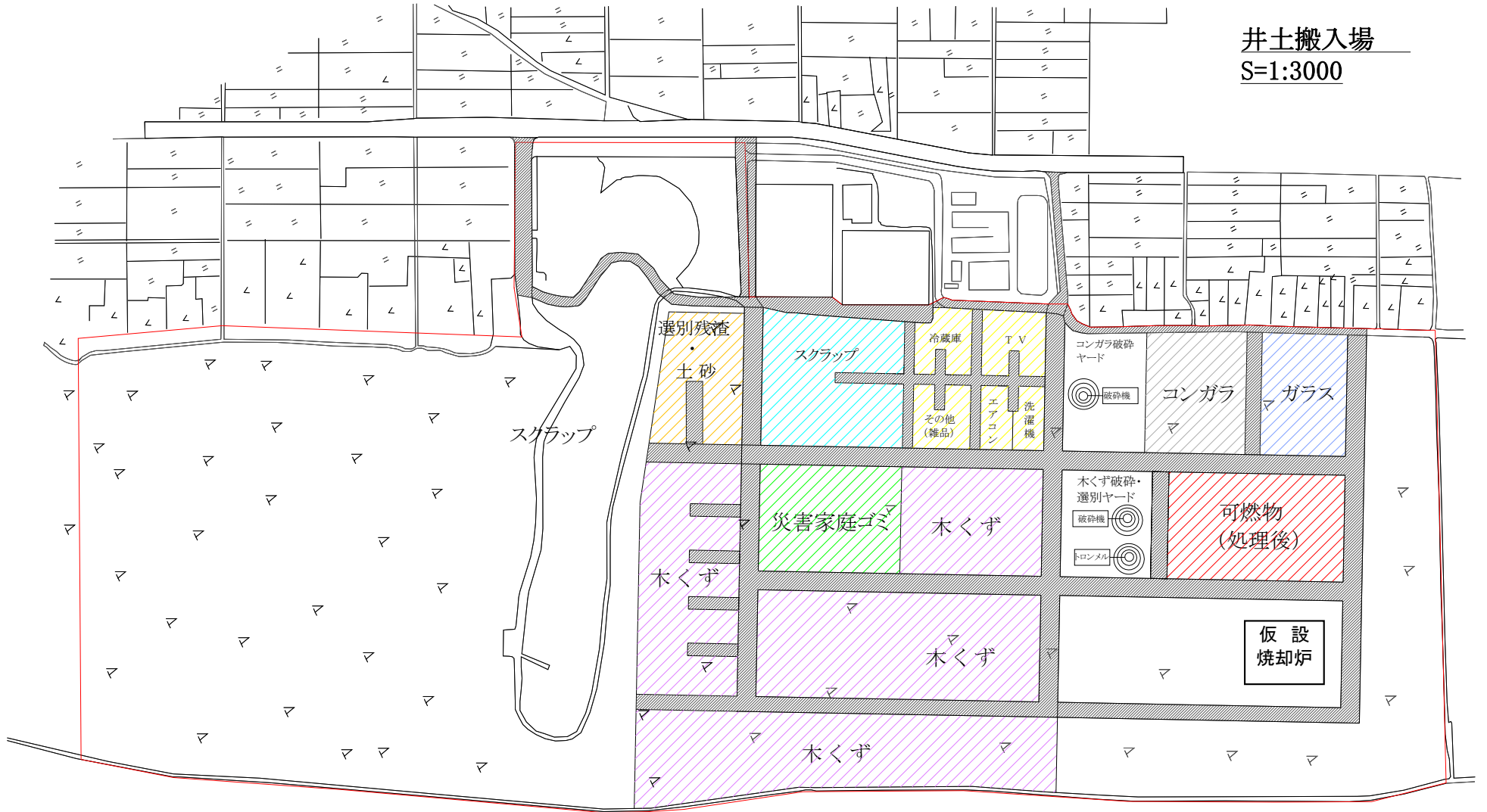


# 荒浜搬入場



# 井土搬入場

井土搬入場  
S=1:3000





# 井土搬入場





# 搬入場の分別状況







根や枝を破碎チップ化



トラックスケールがつき計量可能になりました

8/9撮影 蒲生搬入場の状況



被災車両置場(アスファルト舗装)



仮設焼却炉建設中(処理能力90t/日)

# 今後の取り組み

- ・ 現在までの震災廃棄物の撤去状況（11月18日現在）
  - 135万 t のうち約131万 t ， 約97%撤去
  - うち3搬入場 約122万 t
- ・ 仮設焼却炉（480 t / 日）
  - 蒲生， 井土（90 t / 日） 10月 1 日から本稼動
  - 荒浜（300 t / 日） 12月 1 日から本稼動
- ・ リサイクル
  - 金属， たたみ， 木くず（柱・丸太等）， タイヤ， 被災車両等
  - 【今後】 コンクリート・アスファルトくず， 家電， 津波堆積物等



**今後も本市の  
復旧・復興のために  
全力を尽くします**